

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	4,781千円	252千円	340千円	0千円
総人件費	6,676千円	16,531千円	13,559千円	
総事業コスト	11,457千円	16,783千円	13,899千円	

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課	企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	13	企画調整に要する経費

事務事業名	01	都市再生整備計画に係る総合調整				指標名	-				指標種別	-							
						H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要		-				
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	-	-	その他の指標		-				
総合戦略	-	-	-	-	実績	-	-	-					事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
個別計画	-					改善目標	H27年度				H28年度				事業費(A)	4,660千円	87千円	102千円	0千円
根拠法令等	都市再生特別措置法(平成14年法律第22号)					事業計画	一部未着手の区域は、新計画の中で着手する。				核となる事業を揃え、H29年度から開始する計画作成と申請を行う。				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事业					活動実績	前計画の課題である未着手区域の解消に向け、新たな計画を策定する。				事業計画 ・4月庁内調整及び茨城県協議 ・5～6月概算要望 ・7～10月庁内調整及び茨城県協議 ・11～12月本要望				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ					成果	・庁内調整を行い、H28開始予定の都市再生整備計画案の作成を行ったが、関係機関との調整の結果H29開始計画となった。 ・計画に含まれる大穂交通センター整備の協議を行った。				上半期活動実績 -				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	TXつくば駅を中心とする研究学園都市中心地区の公共公益施設を改修・リニューアルすることで、人・地球にやさしい、にぎわいのあるまちづくりを図るため					課題	・関係機関、庁内との調整の結果、H28開始の計画は申請を行わなかった。 ・本年度より実施予定であった北部地区についても、調整の結果、計画が廃止となった。				上半期成果 -				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	・平成22年3月23日付 都市再生整備計画提出 事業期間 平成22年度～平成26年度 事業総額 1,470,000千円(国費588,000千円) 企画・国際課の担当は計画のマネジメントと国費の執行					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	一般財源	4,660千円	87千円	102千円	0千円	
ISO 14001 環境性	-					評価	有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-		人件費(B)	6,268千円	6,117千円	6,117千円			
	-						効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-		正職員	従事割合	0.80人	0.80人	0.80人		
	-						総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		時間外勤務	71.00時間	65.00時間	65.00時間			
	-													臨時職員等	無	無	無		
	-													事業コスト(A+B)	10,928千円	6,204千円	6,219千円		
	-													H29年度当初積算根拠	-				
	-													H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課	企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	13	企画調整に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	4,781千円	252千円	340千円	0千円
総人件費	6,676千円	16,531千円	13,559千円	
総事業コスト	11,457千円	16,783千円	13,899千円	

事務事業名	02	地域再生計画・構造改革特区に係る総合調整及びその他庁内調整業務	指標名		指標種別		指標の概要				
			-	-	-	-	-	-	-	-	
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
個別計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
根拠法令等	・地域再生法 ・構造改革特別区域法		改善目標		改善目標		その他の指標				
			-		・引き続き情報提供を行い、わかりやすい制度の周知に努める。 ・当市への効果を精査して対応を行う。		-				
事業分類	A 任意的事業		事業計画		事業計画		事業実施コスト				
			・制度や支援内容について、庁内周知を図り、活用に向けた検討を担当課と共に進める。 ・依頼文書に基づき実施する。		・国から周知毎に庁内周知を行う。 ・事案ごとに庁内調整を行う。		H26年度決算 H27年度決算 H28年度当初 H29年度当初				
執行体制	職員のみ		活動実績		上半期活動実績		事業費(A)				
			・国からの情報提供毎に庁内に情報提供を行った。 ・制度の内容に合わせ、財政課や事業担当課に直接連絡を行い、制度利用意志の確認を行った。 ・他自治体や団体からの調査依頼に基づき適宜関係課に調査協力を依頼した。		-		121千円 165千円 238千円 0千円				
事業の目的	・地域の特性に応じた規制の特例措置を講じ、構造改革を推進することで、地域経済の活性化や交流の促進を図るため。 ・所管する部署との調整により、事業の適正な執行を管理する。		成果		上半期成果		国庫支出金				
			・本年度は企画・国際課より申請を行わなかった。 ・各種団体からの調査に回答した。		-		0千円 0千円 0千円 0千円				
事業の概要	・地域再生法に基づき、地域が行う地域再生を図るための計画を策定し、国へ認定申請を行う。 ・構造改革特別区域法に基づき、区域を設定し、当該区域内で適用させようとする規制の特例措置を盛り込んだ計画を策定し、国へ認可申請を行う。 ・庁内複数の部署に該当する案件等の調整を行う。		課題		課題		県支出金				
			・庁内で十分制度が理解されていない。 ・各種団体から調査依頼があるが、その結果は当市にほとんどいかされない内容である。また、庁内でも各種計画に基づく調査依頼を行っており、庁外の団体からの重ねての調査依頼は負担となっている。		-		0千円 0千円 0千円 0千円				
ISO 14001 環境関連性	-		事業の進捗状況		事業の進捗状況		その他特財				
			達成 目標の進捗状況 -		達成 目標の進捗状況 -		0千円 0千円 0千円 0千円				
		有効性 中：適切な成果が得られている		有効性 -		一般財源					
		効率性 中：適切な費用対効果が得られている		効率性 -		121千円 165千円 238千円 0千円					
		総合評価 B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価 -		人件費(B)					
						408千円 10,414千円 7,442千円					
						正職員 従事割合 0.05人 1.40人 1.00人					
						時間外勤務 10.00時間 5.00時間 5.00時間					
						臨時職員等 無 無 無					
						事業コスト(A+B) 529千円 10,579千円 7,680千円					
						H29年度当初積算根拠 -					
						H29年度の方向性 - 理由 -					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	449千円	288千円	413千円	0千円
総人件費	912千円	7,646千円	7,646千円	
総事業コスト	1,361千円	7,934千円	8,059千円	

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課	企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	14	地域振興に要する経費

事務事業名	01	ユニバ-サルデザイン推進事業	指標名	ユニバーサルデザイン職員研修参加数				指標種別	成果指標	指標の概要	ユニバーサルデザインの研修に参加した職員の人数				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度			
戦略プラン	-	-	-	40人	40人	40人	40人	40人	40人	40人					
総合戦略	-	-	-	実績	60人	62人	-								
個別計画	つくば市ユニバ-サルデザイン基本方針			H27年度				H28年度							
根拠法令等	-			改善目標	・ホ-ムページ等を活用して、市民及び事業者等へ普及させる。 ・庁内の活用状況を把握するため、年度内に調査を行う。				改善目標	各課等が実施している調査や個別計画から課題を抽出し、各課事業に反映できるよう協議する。					
事業分類	A 任意的事業			事業計画	つくば市ユニバーサルデザイン基本方針に基づいたまちづくりを全庁的に推進する。 ・職員研修(人事課) ・イベントユニバーサルデザインチェックシステムの維持管理(外部サーバ) ・庁内の活用状況を把握するため、調査等実施を検討する。				事業計画	・イベントユニバーサルデザインチェックシステムの維持管理 ・職員研修(人事課)					
執行体制	職員のみ			活動実績	・ユニバーサルデザインのまちづくりについて、市ホームページに情報を掲載 ・イベントユニバーサルデザインチェックシステムの維持管理(外部サーバ) ・職員研修の実施(人事課)				上半期活動実績	-					
事業の目的	誰もが楽しく、暮らしやすいつくば市の実現に取り組むため。			成果	新規採用職員を対象とするユニバーサルデザイン研修により、市職員の理解向上が図られている。				上半期成果	-					
事業の概要	つくば市ユニバーサルデザイン基本方針に基づいたまちづくりを全庁的に推進する。 ・職員研修(人事課) ・イベントユニバーサルデザインチェックシステムの維持管理(外部サーバ)			課題	現状維持が続いているため、市民満足度を把握した上で、事業の見直しを検討する必要がある。				課題	-					
ISO 14001 関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	未達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-				
評価	有効性	低: 成果が低下(低水準を維持)している			有効性	-			理由	-					
	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性	-									
	総合評価	D: 成果を向上させる必要有り			総合評価	-									
事業実施コスト											H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
事業費(A)											78千円	78千円	79千円	0千円	
国庫支出金											0千円	0千円	0千円	0千円	
県支出金											0千円	0千円	0千円	0千円	
地方債											0千円	0千円	0千円	0千円	
その他特財											0千円	0千円	0千円	0千円	
一般財源											78千円	78千円	79千円	0千円	
人件費(B)											228千円	372千円	372千円		
正職員											従事割合	0.03人	0.05人	0.05人	
時間外勤務											0.00時間	0.00時間	0.00時間		
臨時職員等											無	無	無		
事業コスト(A+B)											306千円	450千円	451千円		
H29年度当初積算根拠											-				
H29年度の方向性											-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	449千円	288千円	413千円	0千円
総人件費	912千円	7,646千円	7,646千円	
総事業コスト	1,361千円	7,934千円	8,059千円	

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課	企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	14	地域振興に要する経費

事務事業名	02	霞ヶ浦導水事業建設促進協議会事務	指標名	協議会活動数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	協議会活動数			
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		H31年度	H32年度	その他の指標	-
総合戦略	-	-	-	-	実績	5回	5回	-							
個別計画	霞ヶ浦導水事業建設促進協議会会則		改善目標	H27年度 構成市町村の一つとして、引き続き協議会活動を行う。				改善目標	H28年度 構成市町村の一つとして、引き続き協議会活動を行う。						
根拠法令等	-		事業計画	構成市町村とともに、代表幹事会、総会、研修会、中央要望活動などの協議会活動を行う。				事業計画	構成市町村とともに、代表幹事会、総会、研修会、中央要望活動などの協議会活動を行う。						
事業分類	E 補助金・負担金事業		活動実績	・県庁等にて開催される協議会（代表幹事会1回、総会1回）への出席 ・国土交通省及び県選出国会議員への中央要望活動（今年度は代表5市町村による実施2回） ・現地研修会への出席				上半期活動実績	-						
執行体制	職員のみ		成果	構成市町村とともに事業理解を深め、水資源の確保、霞ヶ浦の水質浄化等を目的とする事業の推進を行った。				上半期成果	-						
事業の目的	霞ヶ浦導水事業の建設促進を図るため。		課題	事業推進に関する国と漁協の裁判が継続することになったため、その動向を注視する必要がある。				課題	-						
事業の概要	構成市町村とともに、代表幹事会、総会、研修会、中央要望活動などの協議会活動を行う。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-					
ISO 14001 関連性	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-					
				効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-					
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-					
													H29年度当初積算根拠	-	
													H29年度の方向性	-	
													理由	-	

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	4千円	4千円	13千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	4千円	4千円	13千円	0千円
人件費(B)	152千円	372千円	372千円	
正職員	従事割合	0.02人	0.05人	0.05人
正職員	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	156千円	376千円	385千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課	企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	14	地域振興に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	449千円	288千円	413千円	0千円
総人件費	912千円	7,646千円	7,646千円	
総事業コスト	1,361千円	7,934千円	8,059千円	

事務事業名	03 CI事業	指標名	着ぐるみ貸出回数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	着ぐるみ貸出回数					
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
	-		30回	150回	150回	150回	150回	150回	150回								
総合戦略	-	実績	168回	220回	-												
個別計画	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-						
根拠法令等	・ツクツク及びつくば市シンボルマークの画像データ使用に関する取扱要綱 ・つくば市イメージキャラクターフックン船長デザイン使用取扱要綱 ほか	改善目標	引き続き、キャラクターを活用したPR活動を行う。				改善目標	フックン船長の認知度を高め、キャラクターの活用による市のイメージアップを図る。				事業実施コスト	H26年度決算				
		事業計画	引き続き、着ぐるみの貸出承認や画像の使用許諾を通じて、市のイメージアップの向上を図る。				事業計画	・市内で開催されるイベントへの参加 ・庁内の発行物へのキャラクター画像活用を推進					H27年度決算				
事業分類	A 任意的事業	活動実績	・着ぐるみ貸出し(ツクツク:38回,フックン船長:182回,計220回) ・画像データ使用承認(ツクツク:9回,フックン船長:71回,計80回) ・シティプロモーション室によるフックン船長のイラスト活用推進				上半期活動実績	-				H28年度当初					
執行体制	職員のみ	成果	着ぐるみの業務を他部署に移管したことにより、各種イベントへの参加機会やホームページ「つくば、ホンモノ!夢特区」への掲載頻度が拡大した。				上半期成果	-				H29年度当初					
事業の概要	シンボルキャラクター「ツクツク」、イメージキャラクター「フックン船長」、シンボルマーク及びキャッチフレーズ等の活用。花・鳥・木に関するデータ管理。	課題	市のキャラクターが2体存在するため、「フックン船長」が市の公認キャラクターであると知られず、結果として市のPRにつながっていない可能性がある。				課題	-				積算根拠					
		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-							
ISO 14001 環境関連性	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性	-				H29年度の方向性	-	理由	-
		効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性		-								
		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価		-								
内訳		事業費(A)	267千円					国庫支出金	0千円								
		県支出金	0千円					地方債	0千円								
		その他特財	0千円					一般財源	267千円								
		人件費(B)	152千円					正職員	0.02人								
		臨時職員等	無					時間外勤務	0.00時間								
		事業コスト(A+B)	419千円					臨時職員等	無								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	449千円	288千円	413千円	0千円
総人件費	912千円	7,646千円	7,646千円	
総事業コスト	1,361千円	7,934千円	8,059千円	

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課	企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	14	地域振興に要する経費

事務事業名	04	つくば市民の日事業	指標名	記念事業数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	記念事業数						
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
戦略プラン	-	-	-	7件	8件	8件	8件	8件	8件	8件	8件								
総合戦略	-	-	-	実績	7件	7件	-												
個別計画	-				H27年度				H28年度				その他の指標	-					
根拠法令等	つくば市民の日条例			改善目標	引き続き、広報等によりPRを行う。				改善目標	市民の日の認知度を高めるために事業の見直しを行う。									
事業分類	A 任意的事業			事業計画	引き続き、各課等の協力のもと、市民の日記念事業を実施する。				事業計画	平成29年の市制30周年に向けて、平成28年度中に新規事業を企画する。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
執行体制	職員のみ			活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 市営有料施設の無料開放等11/28(土)・11/29(日)、実施場所：市営テニスコート他3か所 ウェルネスパーク入館料割引11/30(月) フォレストアドベンチャー・つくば「市民の日」キャンペーン(料金割引)11/27(金)～12/6(日) 学校給食「つくば市民の日」特別メニュー11/30(月) 市報等への掲載によるPR 				上半期活動実績	-				内訳	事業費(A)	0千円	4千円	2千円	0千円
事業の目的	市の生い立ちを振り返り、未来を考えるよすがとし、自治意識を高め、もってつくば市の発展と市民の社会福祉の増進に資するため。			成果	市民の日条例制定からの継続的な実施により事業が定着し、市及び指定管理者によるイベントが実施された。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	昭和62年11月30日の「つくば市誕生」を記念して、11月30日を「つくば市民の日」として定め、11月30日直前の週末に市営施設の無料開放などを行う。			課題	イベントの実施が形骸化する傾向にあるため、事業の目的をふまえ、市制30周年に向けて新たな企画を検討する必要がある。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001 環境性	-			事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		人件費(B)	152千円	372千円	372千円			
				評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-			正職員	従事割合	0.02人	0.05人	0.05人		
					効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			臨時職員等	無	無	無			
													事業コスト(A+B)	152千円	376千円	374千円			
													H29年度当初積算根拠	-					
													H29年度方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	449千円	288千円	413千円	0千円
総人件費	912千円	7,646千円	7,646千円	
総事業コスト	1,361千円	7,934千円	8,059千円	

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課	企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	14	地域振興に要する経費

事務事業名	05	フレンドリータウンデイズつくばの日	指標名	つくばの日利用者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	つくばの日無料・優待枠利用者数				
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
実績	-	-	-	-	1000人	1000人	1000人	1000人	1000人	1000人	1000人						
総合戦略	-	-	-	-	1039人	915人	-										
改善目標	H27年度				H28年度				その他の指標								
改善目標	ホームページ、広報紙等を活用して、更なる広報活動を実施する。				イベント実施の目的を再検討し、事業の推進を図る。												
事業計画	H27年度は、11月7日(土)に開催予定、それに向けて、鹿島アントラーズ、関係各課と連絡調整を密にし、市のPRを図る。				8月6日又は7日(現時点で未確定)に、関係各課等の協力により、市特産品の販売、ステージイベント、エスコートキッズ及びピッチ体験等を実施する。												
活動実績	11月7日にイベントを開催、全体入場者22,755名、つくばの日無料・優待枠利用者数915名、ユメシハウパン無料配布、地元産品を用いたスイーツ及びしいたけ加工品の販売、双嵐龍によるヒーローショー、エスコートキッズ、ミュージアム見学、スタジアムピッチ体験等を実施				上半期活動実績												
成果	ブースの販売物が売り切れになるなど、来場者に対して、市の魅力を発信することができた。				上半期成果												
課題	鹿島アントラーズの意向に沿って事業を実施するだけでなく、市の考え方を明確にし、ブースの実施内容について積極的に提案していく必要がある。				課題												
事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況				-	目標の進捗状況			-					
有効性	中：適切な成果が得られている			有効性													
効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性													
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価													
ISO 14001 環境性	-	-	-	事業実施コスト				H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	H29年度の方向性		-	理由	-	
事業実施コスト	100千円				112千円				119千円				0千円				
事業費(A)	100千円				112千円				119千円				0千円				
国庫支出金	0千円				0千円				0千円				0千円				
県支出金	0千円				0千円				0千円				0千円				
地方債	0千円				0千円				0千円				0千円				
その他特財	0千円				0千円				0千円				0千円				
一般財源	100千円				112千円				119千円				0千円				
人件費(B)	228千円				1,196千円				1,196千円								
正職員	従事割合	0.03人			0.15人			0.15人									
時間外勤務	0.00時間			30.00時間			30.00時間										
臨時職員等	無			無			無										
事業コスト(A+B)	328千円				1,308千円				1,315千円								
H29年度当初積算根拠	-																

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課	企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	14	地域振興に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	449千円	288千円	413千円	0千円
総人件費	912千円	7,646千円	7,646千円	
総事業コスト	1,361千円	7,934千円	8,059千円	

事務事業名	06 国際競技大会キャンプ地誘致事業	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-			
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略	-	実績	-	-	-					その他の指標	-					
個別計画	つくば市スポ-ツ推進計画	改善目標	H27年度				H28年度				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
根拠法令等	-	事業計画	-				事前キャンプ誘致を地域活性化につなげるべく、関係団体からの情報を基に必要な事業を立案する。				事業費(A)	-	75千円	192千円	0千円	
事業分類	A 任意的事业	活動実績	・(仮称)つくば市総合運動公園基本設計のヒアリングに合わせて、筑波大学体育系の教員からキャンプ誘致についての助言を得た。 ・東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合の活動に参加し、関連事業の情報収集を行った。 ・茨城県政策審議室からの情報提供に基づき、全国知事会スポーツ施設データベースへの登録や文化プログラムの視察研修を実施した。				4-5月 関係機関への訪問 6月 新規事業の原案策定 8月 リオデジャネイロ五輪開催 9月～ 国、県等からの情報収集 新規事業の継続的な検討				内訳	国庫支出金	-	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ	成果	・東京オリンピック・パラリンピック開催による地方都市への波及効果について有益な情報を得ることができた。				上半期活動実績				地方債	-	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	国際競技大会のキャンプ地誘致を通して、人的・経済的・文化的な相互交流及び地域の活性化を図ること	課題	・(仮称)つくば市総合運動公園基本計画が白紙撤回となったため、既存施設の活用により競技種目を絞った検討を進める必要がある。 ・宿泊施設、医療機関及び警備など関係機関との調整を進めることが急務である。				上半期成果				その他特財	-	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	2019年ラグビ-ワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックの代表選手が大会直前に行う合宿(事前キャンプ)をつくばに誘致する。誘致に向けて、大会組織委員会からの案内に基づく公式ルート、筑波大学との連携等による独自の方法によって、情報収集を行う。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-		事業の進捗状況		-		一般財源	-	75千円	192千円	0千円	
ISO 14001 環境性	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			人件費(B)	-	3,848千円	3,848千円		
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-			正職員	従事割合	-	0.50人	0.50人	
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			時間外勤務	-	50.00時間	50.00時間		
											臨時職員等	-	無	無		
											事業コスト(A+B)	0千円	3,923千円	4,040千円		
											H29年度当初積算根拠	-				
											H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課	企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	15	つくば市オー・ビー人材活動支援に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	2,185千円	2,142千円	2,359千円	0千円
総人件費	1,139千円	1,513千円	1,513千円	
総事業コスト	3,324千円	3,655千円	3,872千円	

事務事業名	01	つくば市オー・ビー人材活動支援事業			指標名	登録者の活動回数				指標種別	活動結果指標					
					登録者の活動回数	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	300回	500回	500回	500回	500回	500回	500回	500回			
総合戦略	3	2	シニア世代の人材活用		実績	495回	509回	-								
	-	-	-	-	H27年度				H28年度							
個別計画	-				改善目標	庁内関係部署、市内研究機関等の訪問、広報紙等の掲載、イベントの参加等に加え、近年、講師派遣依頼が数多く見られる、近隣市町村等への広報活動を実施する。				改善目標	・庁内への周知を図り、市の事業においても登録者の活用を進める。 ・事業の構造をわかりやすく伝えるように、広報の実施内容を見直す。					
					事業計画	専門のコーディネーターを委嘱し、研究所等を訪問し、登録者の募集や活動場所の開拓等を行う。また、シニアエキスパート便覧の作成や配布、広報紙等の掲載により事業の周知を図る。 ・新規登録者と特別職との意見交換会を実施する。				事業計画	・専門のコーディネーターを委嘱し、研究所等を訪問するなど、登録者の募集や活動場所の開拓等を行う。 ・シニアエキスパート便覧の発行や配布、広報紙等の掲載により事業の周知を図る。					
根拠法令等	-				活動実績	・シニア・エキスパート便覧第11版(平成27年4月)及び第12版(平成27年10月)の発行 ・登録者総数 235名、登録者の活動回数 延べ509回 ・事業の広報活動として、庁内関係部署、市内研究機関、他自治体等を訪問し、退職者等に対する登録の募集及び登録者の活動場所の開拓等を行った。 ・事業概要を広報紙等に掲載し、広く周知を図った。				上半期活動実績	-					
事業分類	A 任意的事業				成果	・セミナー等の講師に加えて、地域シンクタンクの執筆依頼を受けることにより、登録者の活動回数が500回を突破した。 ・活動実績のある登録者が5割を超えた。				上半期成果	-					
執行体制	職員のみ				課題	・庁内での認知度が低いため、周知を進めて各課等で活用してもらう必要がある。 ・登録者の活用を進めるために、便覧には専門知識の紹介をわかりやすく掲載することが課題となる。				課題	-					
事業の目的	多様な人材が集う「研究学園都市」の特色を活かし、高度な知識や専門技術を有するシニア層の方が、現役引退後もいきいきと活動できるように支援するため。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠			
					事業の概要	高度な知識や専門技術をお持ちのシニアの方に長年携わってこられた専門分野を登録いただき、講師等の派遣等を希望される方に「つくば市シニア・エキスパート」として紹介する事業。 専門のコーディネーターを委嘱し、研究所等を訪問し、登録者の募集や活動場所の開拓等を行う。また、シニアエキスパート便覧の作成や配布、広報紙等の掲載により事業の周知を図る。										
ISO 14001 環境性	-				評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している		評価	有効性	-		H29年度 の方向性	-	理由	-
						効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性	-					
					総合評価	A: 成果を維持して継続実施		総合評価	-							

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	2,185千円	2,142千円	2,359千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	2,185千円	2,142千円	2,359千円	0千円
人件費(B)	1,139千円	1,513千円	1,513千円	
正職員	従事割合	0.15人	0.20人	0.20人
内訳	時間外勤務	0.00時間	10.00時間	10.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	3,324千円	3,655千円	3,872千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課	企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	16	アイラブつくばまちづくりに要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	28千円	21千円	186千円	0千円
総人件費	2,278千円	1,540千円	1,540千円	
総事業コスト	2,306千円	1,561千円	1,726千円	

事務事業名	01 アイラブつくばまちづくり事業				指標名	寄附受付件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要		
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標				
戦略プラン	-	-	-	-	50件	50件	50件	50件	50件	50件	50件	50件		50件	アイラブつくばまちづくりキャンペーンに寄せられた寄附受付件数		
実績	-	-	-	-	59件	63件	-										
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				寄附活用事業件数 H25年度 31件 H26年度 22件 H27年度 32件				
改善目標					各種イベント等に参加し、より一層のキャンペーンPR活動を図る。				新たな財源の獲得とともに、市の魅力を発信する機会として活用するために、返礼内容の検討を進める。								
個別計画					事業計画				事業計画				事業実施コスト				
根拠法令等	つくば市まちづくり寄附規則 アイラブつくばまちづくり寄附基金条例				<ul style="list-style-type: none"> 寄附金の受付、寄附金の活用(アイラブつくばまちづくり補助事業等) 寄附者及び寄附金活用状況の公表、寄附者の公表 アイラブつくばまちづくりキャンペーンのPR活動 総務省「ふるさと納税ワンストップ制度」創設に伴う対応 新たにゆうちょ銀行での寄附金納付を開始する。(従来は会計管理者名義の口座を活用、手数料等予算化等済) 				<ul style="list-style-type: none"> 寄附金の受付、寄附金の活用(アイラブつくばまちづくり補助事業等) 寄附者及び寄附金活用状況の公表、寄附者の公表 アイラブつくばまちづくりキャンペーンのPR活動 ふるさと納税に対する返礼事業の立案、実施 					H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業分類	A 任意的事業				活動実績				上半期活動実績				事業費(A)	28千円	21千円	186千円	0千円
執行体制	職員のみ				<ul style="list-style-type: none"> 寄附金の受付(寄附受領63件、計7,496,795円) 寄附金の活用 まちづくり補助事業21件 計1,450,000円 市の事業への充当11件 計2,732,000円 合計 4,182,000円を活用 寄附者の公表(市広報紙・ホームページ掲載6月、11月年2回実施) 				<ul style="list-style-type: none"> 個人からの寄附がふるさと納税に位置づけられるため、市外の方からも多くの寄附があった。 まちづくり活動団体への補助金に加えて、市の事業にも積極的に充当を進めることができた。 				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	市の発展を願う方からいただいた寄附金の活用状況や寄附者の公表などを通じて、つくばを想う方の輪を広げるため。				成果				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 寄附金の受付、寄附金の活用(アイラブつくばまちづくり補助事業等) 寄附者及び寄附金活用状況の公表、寄附者の表彰 アイラブつくばまちづくりキャンペーン事業のPR活動 				課題				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001 環境性	-	-	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
評価	有効性				中:適切な成果が得られている				有効性				一般財源	28千円	21千円	186千円	0千円
	効率性				中:適切な費用対効果が得られている				効率性				人件費(B)	2,278千円	1,540千円	1,540千円	
	総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				正職員	0.30人	0.20人	0.20人	
													時間外勤務	0.00時間	20.00時間	20.00時間	
													臨時職員等	無	無	無	
													事業コスト(A+B)	2,306千円	1,561千円	1,726千円	
													H29年度当初積算根拠				
													H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課	企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	80	総合計画策定に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	19,068千円	0千円	0千円	0千円
総人件費	10,130千円	3,240千円	3,240千円	
総事業コスト	29,198千円	3,240千円	3,240千円	

事務事業名	01	未来構想・戦略プラン進行管理業務	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-		
戦略プラン	-	-	目標値	H26年度 -	H27年度 -	H28年度 -	H29年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -
総合戦略	-	-	実績	-	-	-				
個別計画	-	-	改善目標	H27年度			H28年度			
根拠法令等	-	-	事業計画	「つくば市戦略プラン」の進捗管理を行う。			改善目標 ・行政経営課と協議の上、施策評価調書を完成する。 ・外部評価を行い、施策の議論の場を設け、戦略プランの拡充を図る。 ・外部評価を予算に反映させる。			
事業分類	A	任意的事業	活動実績	・財政課と事業の取組結果を反映させる予算システムについて、協議を行った。 ・内部監査前に、戦略プラン該当事業について、担当次長に指標について協議を行った。 ・行政経営課と施策評価調書について協議を行った。			事業実施コスト 事業費(A) 国庫支出金 県支出金 地方債 その他特財 一般財源			
執行体制	一部委託		成果	・事業計画書を作成した。 ・戦略プラン該当事業について、財政課に提出する評価調書案を作成した。 ・施策評価調書案を作成した。			人件費(B) 正職員 従事割合 時間外勤務 臨時職員等			
事業の目的	基本構想である「人と自然と科学が調和し、安らぎと活力に満ちた“健康で健全なまち・つくば”の創造」を目指し、その実現を図るため。		課題	・財政課が予算システムを変更したため、作成した戦略プラン評価調書が使えなくなり、財政課との連携に課題があった。 ・施策評価調書案を行政経営課と協議の上決定する必要がある。			事業コスト(A+B) H29年度当初積算根拠			
事業の概要	・戦略プラン各事業の指標や予算等をまとめた事業計画書を作成する。 ・戦略プラン各事業の進行管理を行う。また進行管理を行うにあたり、予算との連動体制を整える。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-
ISO 14001 関連環境性	天然資源の枯渇防止 部長及び次長への説明に当たり、タブレットPCの活用を進めて印刷物の縮減を図る。		評価	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-		H29年度の方向性
			効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-		理由	
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-			